

2月議会は2月22日～3月21日までの29日間を会期として開催されました。

2023年度最終補正は一般会計増額補正予算（総額97億5816万5千円）案を含む29件の議案すべてが原案どおり可決・同意されました。

補正予算・議案の問題点

戸籍へのふりがな記載は憲法が保障する自己決定権を侵害

マイナンバーカードへ、ローマ字とふりがなを記載するためのシステム改修費が計上されました。戸籍法の改正で戸籍にふりがなが記載されることとなりますが、氏名として用いられる漢字の読み方には、認められないものもあるとのこと。

これまで使っていた読み方が法律によって使えなくなることは、憲法が保障する自己決定権を侵害します。取得は任意であるはずのマイナンバーカードへの記載のために、全国民が関わる戸籍を、広範な合意なしに変えることに納得できないと意見を述べ反対しました。

中学校給食センター1カ所は反対

中学校給食センター整備費の一部として工事請負費6億1786万5千円が計上されました。自校できめ細かな給食を提供することこそ食育の保障と考えること、災害時等の危機管理の問題でも一カ所とすることには賛成出来ません。

一般会計予算（総額1502億3039万円）含む2024度の当初議案37件、人事案件2件、議員発議2件すべてが原案通り可決・同意される

当初予算・議案の問題点

市民生活をささえる行政が軒並みの引き上げを行うべきではない

公園、体育館、温水プールの利用料金、斎場の使用料金の引き上げ（右表）が行われます。物価高騰等を要因とする施設の管理経費の増加を理由としています。

市民こそ物価高騰の打撃を受け暮らしが厳しい状況にあります。市民生活をささえる行政が軒並みの引き上げは行うべきではないと反対しました。

| 料金一部紹介 | | (円) | | |
|---------------------|---------------|----------------|----------------|-----------|
| | | 2023年度 利用料金 | 2024年度 利用料金 | 引き上げ 額 |
| つつじヶ丘テニス 屋内コート | 平日 1時間 | 1,460 | 1,800 | 340 |
| | 土日祝 1時間 | 1,460 | 2,000 | 540 |
| 松下体育館 | 午前9時～ 正午まで | 3,310 | 3,650 | 340 |
| 市民体育館 | | 4,900 | 5,390 | 490 |
| 市民温水プール 個人使用（大人） | 夏季7月～9月 | 350 | 400 | 50 |
| | 夏季以外 | 570 | 650 | 80 |
| 市民温水プール 専用使用 | 夏季以外 | 22,630 | 25,800 | 3,170 |
| 斎場 | | 2023年度 使用料金 | 2024年度 使用料金 | 引き上げ 額 |
| 12歳以上（1体）市内 | | 10,000 | 12,000 | 2,000 |



国保、介護、後期高齢者医療保険料の引き上げ

国民健康保険料は賦課限度額が2万円上がり106万円になったことをはじめ、介護保険料も後期高齢者医療保険料も大幅な引き上げが行われます。このような過酷な負担増は市民の命を脅かすものであり到底容認できないとし、国庫負担の抜本的増額も求めました。

高齢者補聴器補助制度の拡充を

高齢者補聴器助成制度は市民からの強い要望のもと昨年からはじまった事業ですが、条件のハードルが高く実績は57人に留まりました。それにも関わらず同じ予算金額が計上されています。目的に「高齢者の安全な暮らしを支える」ことを掲げるならば事業内容の拡充が必要です。

若者が安心して結婚できる環境をつくることこそ大事

わかやまKOIむすび事業という婚活事業が、昨年からは業務委託をしてさらに拡充されています。行政が子育て支援として婚活事業を行うことは市民に結婚と出産を推奨することになります。子育て支援というなら経済的支援や待機児童解消など、若者が安心して結婚できる環境をつくることこそ大事だと考えます。また、「しあわせたく3（さん）未来ギフト」

は第3子以降の出産を奨励しておもちゃを贈る事業ですが、子どもはどの子どもも大切に第1子から祝福されるべきです。

和歌山バス3路線廃止計画

和歌山バスは昨年末、市内の3路線（鳴神線、六十谷線、雑賀崎循環線）を4月から減便し9月末に廃止すると発表しました。それぞれの地域では自治会をはじめ関係者が市や和歌山バスへ廃止の撤回を求めています。

市長はこれを受け、新年度予算に3路線の赤字を補填する半年分の補助金を計上しました。議会が終了する直前、和歌山バスは「赤字は変わらないが地元や市と協力しながら継続する」と表明。3路線は当面継続されることになりました。

学童保育（若竹学級）の

待機児童解消は抜本対策で

市は待機児童解消のため放課後の図書室等の利用（タイムシェア）でやり過ごそうとしています。施設の新設や空き家利用で受け皿を増やす抜本対策が必要です。

76年ぶりの改善

【保育士の配置基準を

見直したことによる条例改正】

保育士1人に対して「3歳児は20人から15人に」、「4・5歳児は30人から25人に」基準を見直すという制度の改正が行われました。

これは保育士たちによる長い運動によるもので、特に4～5歳児については、76年ぶりの改善、「山が動いた」という喜びの声もあります。

しかし、今回の条例は「当分の間、もとの基準でもいい」とするものです。もちろん、突然保育士が増えるわけではないので、こういった措置が必要なのはわかります。しかし、「当分の間」という言葉に甘えて、いつまでも基準が変わらないことがないように見直した基準へ早急に引き上げるよう強く要望しました。

代表・一般質問

代表質問：森下議員

一般質問：南畑・坂口議員が行いました。



もりしたさちこ
森下佐知子議員

和歌山バス 3路線廃止計画 について

森下：和歌山バスが今年9月末に3つの路線を廃止すると発表しました。2008年度以降73あった系統が65に減少し、その多くは郊外部です。

高齢者の外出支援の元気70パスも路線バスを基本に制度設計ができないのではと考えられます。高齢者だけでなく市民誰もが安心して移動できるまちをどう作っていくのか、公共

交通のあり方が問われています。

市長：既存の公共交通の維持・活性化を図るとともに、地域バス等の公共交通不便地域対策や、新たなモビリティの導入による更なる利便性の向上に取り組みます。

新水道ビジョン、料金改定の考え方 など、きめ細かな説明会の開催を

森下：能登半島地震で水道が大きな打撃を被りました。水が命にかかわるものであり、飲料水だけでなく洗濯、風呂など水がなければ生活そのものが成り立たない上に、一旦管路が被災すれば復旧は容易ではありません。生活用水をどう確保するのかが問われています。

公営企業管理者：今後行う施策や料金制度について、住民説明会を通じ、丁寧な説明を行っていきたいと考えています。

市長：災害時協力井戸や小中学校のプール水を緊急時用浄水装置を用い生活用水として活用します。

旧同和行政の住宅施策について

森下：未だ地域を限定し、公募せず、減免制度を設けている住宅を残しているのは、不公正であり、入居可能な空き家は直ちに公募すべきです。

市長：入居可能な空き家は住み替えや団地の統廃合の対応に活用していますが、公募については今後も研究を進めます。

介護報酬改定で訪問系サービスが軒並み減額、 市として手立てが必要



さかくちたみこ
坂口多美子議員

坂口：ホームヘルパーの深刻な人手不足や高齢化の影響で、訪問介護事業所の倒産が過去最多となっている状況下での報酬減額、関係者からの怒りの声は当然です。在宅介護が崩壊してしまわないように、市として財政措置などの手立てが必要です。

局長：職員の処遇改善加算を確実に取得していただくことで改定前の報酬が確保されるものと考えます。

坂口：処遇改善加算でプラスになる事業所はたった1割ほどで、大半が大幅な減額となります。早急に対策を講じるべきです。

健康保険証の廃止は中止を、

マイナ保険証に代わる手段は永久に

坂口：マイナンバーカードと健康保険証の原則一体化の方針に基づき、従来の健康保険証は12月2日に廃止されます。しかし、医療現場ではマイナ保険証のトラブルが続き、利用率は5%に満たない状況で、とても現行の保険証を廃止する環境が整っているとは思えません。国民皆保険制度の根幹を壊す保険証の廃止は中止するよう国へ求めるべきです。

市長：市民の方々が安心して保険診療を受けられるために万全を尽くすよう、国に対して引き続き要望してまいります。

坂口：現行の健康保険証に代わる「資格確認書」の期限は5年となっており、マイナンバーカードの取得が任意であるならば期限は設けるべきではありません。

局長：国から有効期限を設ける理由は提示されていませんが、すべての方が保険診療を受けられるように、マイナ保険証に代わる「資格確認書」は必要であると考えています。

スフィア基準(国際基準)を生かした避難所運営を



みなみばたさちよ
南畑幸代議員

南畑：能登半島地震では多くの方が体育館に避難しました。避難所運営は「スフィア基準」という国際基準があります。

トイレは20人に1つ。男女比は1:3。温かい食事の提供など。しかし、日本の避難所は殆ど基準を満たしていません。市の備蓄物資目標は避難者数88,000人を基に算定。指定避難所は103カ所です。

本市でもスフィア基準を参考に避難所運営をしてもらいたい。

局長：内閣府の「避難所運営ガイドライン」

にも、スフィア基準は参考にすべき国際基準とされています。市も参考に避難所運営マニュアルを策定しました。

南畑：例えば簡易トイレの備蓄は全体で415個で少ない。質の高い避難所運営が必要です。

局長：常設のトイレまで移動困難な要配慮者が対象。国、県及び地域の防災協定締結事業者等8社と連携し対応します。

市長：発災直後からトイレが利用できるようマンホールトイレの整備、温かい食事は防災協定締結事業者等と連携します。事前の備えを徹底し、命を守り安全・安心を感じ暮らせるまちを目指します。

不足している福祉避難所の拡充を

南畑：避難行動要支援者数と福祉避難所の受入れ可能数はどうか。

局長：津波浸水区域、土砂災害計画区域、河川氾濫による浸水区域に居住する方は9,298人で福祉避難所の受入可能人数は1,906人です。多様な施設と協定締結に向け取り組みを進めます。

防災会議の女性登用率は早急に30%達成を

南畑：国の目標30%達成にどう取り組むのですか。

市長：内閣府の「第5次男女共同参画基本計画」の目標値を目指すため防災会議の会長として女性委員の登用を働きかけていきます。

日本共産党市議会だより 2024年4月21日発行

日本共産党和歌山市議員団 Tel 073-435-1113

ホームページ

X(旧Twitter)

Fax 073-421-4181

インスタグラム

E-mail jcpwkym@apricot.ocn.ne.jp



「日本共産党和歌山市議員団」で検索、
又は、左のQRコードからごらんください。